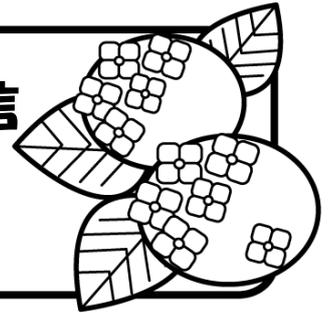




青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和3年度 第187号 6月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行



15年間続いてきた「保小中一貫教育」の取り組みが、昨年度は新型コロナウイルスの影響でほとんどの活動がありませんでした。コロナ禍での今年度の活動を小学校の島脇教頭先生にお聞きしました。新しいスクールカウンセラーの茅野桃子先生の紹介もお伝えします。

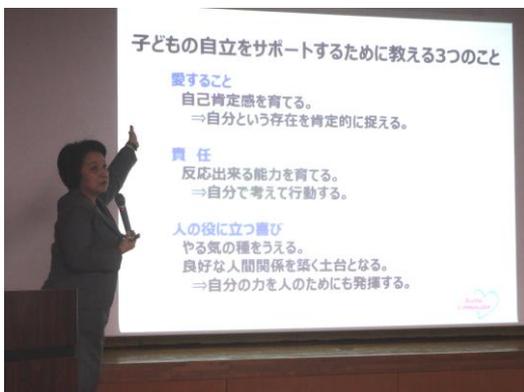


令和3年度 保小中一貫教育

令和3年度の保小中一貫教育の取り組み

保小中一貫教育委員会事務局 島脇 謙（青木小学校教頭）

青木村は「村の子は村で育てる」という教育理念の元、地域が一体となって子育てをしています。青木村の教育目標である「心豊かでたくましい子どもの育成～社会力(生きる力)を育てる～」を達成するために、教育委員会を中心に保育園・小学校・中学校が連携し活動をしています。「5か条委員会」「子育て委員会」「フォーラム委員会」「小中連携委員会」「保小連携委員会」「特別支援教育委員会」「保健教育委員会」の7つの委員会を設置し、それぞれの委員会が特色ある活動を行い、「子育てフォーラム青木」にて一年間の取り組みと成果を発表しています。「子育てフォーラム青木」には毎年、村内外から多くの方が参加し、分科会では子育ての難しさや悩みを共有したり、講演会では講師の先生のお話から子育ての新たな視点を学ぶことができたり有意義な機会となっています。



フォーラム2019 講演会



フォーラム2018 アトラクション

このように、青木村の教育の特色である保小中一貫教育は発足から15年間続いてきましたが、昨年度は新型コロナウイルスの影響でほとんどの活動が中止となってしまう、フォーラムも開催されませんでした。今年度も新型コロナウイルスは猛威を振るっており、上田圏域の感染レベルや村内の状況に応じて、学校行事の中止・縮小を余儀なくさ



れています。このような状況の中、保小中一貫教育委員会事務局として今年度の活動方針の策定に苦心しました。沓掛教育長を始めとする多くの方々との協議の中で、以下のような方針で、今年度の青木村保小中一貫教育を進めて参ります。

① 保小中一貫教育の灯火を消さない

今年度、危惧したことは、「コロナ禍ということで昨年度同様に保小中一貫教育に関わる活動を中止した場合、青木村で大切にしている保小中一貫教育の志が薄れてしまうのではないか?」ということです。今まで多くの方々大切にされてきた子育てに対する想いを消さないためにも、今年度は可能な範囲で活動していきます。

② コロナ禍でもできる活動を行う

新型コロナウイルスの影響はまだまだ続きそうです。コロナ禍でも感染対策をとったり、やり方を変えたりすることでできる活動があるはずです。



- ・昨年度の経験を活かし、各委員会で3密にならないような活動を考えます。
- ・会議の回数を減らしたり、時間を短縮したりすることで、一堂に集まる機会を減らします。(すでに今年度は5月の全体会をなくしました。)
- ・ZOOMの活用。すでに学校や各家庭でも活用されています。例えばフォーラムの分散会や講演会はZOOMで繋がることはできるのではないかと。4月に行われた小学校PTA総委員会ではZOOMで会員同士が繋がることができました。

③ 何ができるか共に考え、繋がるだけでも成果

もしかしたら、今年度も新型コロナウイルスの影響で予定されている活動が中止になる可能性もあります。保小中一貫教育で大切なことは、子どもの成長のために、私たち大人ができることは何かをみんなで考えることだと思います。すでに4月の各委員会において、今年度の活動計画を考えました。早速、成果は出ています。



今年の「子育てフォーラム2021」は11月27日(土)に開催予定です。テーマは「自尊感情の育成」です。開催ができるよう、日々の新型コロナウイルス感染予防をお願いします。

【今年度の各委員会の活動内容】

5か条委員会

「あおきっ子 教育ポイント5か条」の中に「スマホは持たせない」とありますが、学校で一人一台の端末が利用されるようになり、時代の流れにそぐわなくなりつつあります。調査により利用の実態を把握し、実態に合わせたふさわしい条文を考えていきます。

子育て委員会

テーマは「地域へ（人と）つながっていこう」です。地域の方々とのつながりが強い青木村。地域の方々がどのような思いで子どもと接しているかメッセージを書いてもらい、伝えていきます。温かい心のつながりをめざしていきます。



フォーラム委員会

新型コロナウイルス感染予防や各委員会の活動計画を考慮しながら、どのような形でフォーラムを開催すればよいか検討します。当日の内容、タイムテーブル、展示発表等を検討し、参加の呼びかけをします。

小中連携委員会

学校には一人一台の端末・タブレットがあります。学校・家庭におけるタブレットの活用について考えていきます。タブレットの有効な活用法や使用した際の効果・問題点を小・中学校で共有し、家庭へも発信したいと思えます。

保小連携委員会

音楽会、プール、ハロウィン、焼きいも大会など園児と小学生が交流することにより、保育園から小学校へのスムーズな移行を図りたいと考えています。コロナ禍でもできる交流を模索中です。



特別支援教育委員会

事例を検討することで、子どもにとってどのような支援が良いのか考えていきます。保小間・小中間でのスムーズな移行ができるように、関係機関の情報共有や連携を図っていきます。

保健教育委員会

新型コロナウイルスにより、私たちの生活や気持ちがどのように変化しているのか話し合い、コロナ禍でどのように生活をしていけば良いか考えていきます。コロナ禍でもできること、やれることを提案していきたいです。



新しいスクールカウンセラーの先生を紹介



青木村教育委員会 スクールカウンセラー

茅野 桃子

はじめまして。青木村教育委員会スクールカウンセラーの茅野です。今年度より青木村教育委員会でお世話になります。今年度から青木村教育委員会スクールカウンセラーは、近藤瑞季先生と茅野の2人体制になりました。

私は長野県上田市出身で、上越教育大学、大学院を卒業しました。大学では、主に学校教育について学び、大学院では心理学を専攻していました。

今後は、スクールカウンセラーとして青木村で暮らす皆さんが安全に、そして安心して暮らせるお手伝いをさせていただきたいと思っています。とは言っても、スクールカウンセラーとして働くことは初めてです。また、青木村についても知らないことが多く、至らない部分が多々あるかと思えます。そのため、子どもたちと同じく“学ぶ”姿勢を大切に、精一杯取り組みたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

引き続き、主な活動は保育園・小学校・中学校への巡回相談です。それぞれの場所にお邪魔して、子どもの相談にのったり、保護者様や先生方と一緒に話し合ったりします。他にも乳幼児健診への参加なども、これまで同様に行います。ただ、今年度から近藤先生との2人体制のため、業務を分担しつつ協力しながら行う予定です。

さてコロナ禍の昨今ですが、今まで自粛していた趣味のテニスを少しずつ再開したところ、とても気分が晴れやかになりました。翌日は痛みますが、心は軽くなるような気がします。“自粛生活の中でも適度な運動を”と言いますが、適度な運動と友人とのマスク越しの会話はとても良いリフレッシュになるなぁと実感しています。



最後になりましたが、青木村で働き始めて早くも1ヵ月が経ちました。教育委員会から見える自然豊かな景色や、地域の皆さんと接する中で、本当にあたたかい村だなあと感じています。青木村の良いところをたくさん知りたいなと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



編集後記

今年度の小学校・中学校の子育て委員会のテーマは、「地域へ（人と）つながっていこう」です。参観日の懇談会の折に率直な思いをお聞かせください。また『子育てフォーラム2021』は、11月27日(土)開催予定です。

